

明日-1 新しいものづくり政策

8/31 13:10 <ものづくりパラダイムシフトを目指して>

経済産業省製造産業局

ものづくり政策審議室長 前田 泰宏

【セッション概要】 経済産業省では新経済成長戦略を掲げ、その中でイノベーションは労働力、資本の増加に一定の限界がある中、わが国経済の持続的な成長を実践するための鍵としています。本講演では、わが国競争力の源泉であるものづくりに関して「新しいものづくり政策」を、現状認識と新しい定義、パラダイムシフト、そのための施策、などの観点から述べ、これを下支えする仕組み体系のひとつとしてのP2Mへの期待を述べます。

【講師略歴】 1988年東京大学法学部卒業・通商産業省(現経済産業省)入省。95年より大臣官房、資源エネルギー庁、商務情報政策局で、課長補佐・総括課長補佐を歴任して、2004年7月製造産業局政策企画官、2005年1月より現職。この間1999年にジョンズ・ホプキンス大学MIPP取得。

明日-2 シャープにおけるプロジェクト型組織マネジメント

8/31 14:20 <液晶テレビAQUOSの開発プロジェクト例>

シャープ株式会社 AV・液晶映像技術開発センター

所長 工学博士 杉野 道幸

【セッション概要】 シャープでは「緊急プロジェクトチーム制」を敷いて明日の戦略的新製品開発をプロジェクト制で実施している。製品というひとつの“システム”を開発する場合、仕様という“目的(目標)”を明確に定めることが重要である。“目的”が明確に定まると、その“システム”を具現化するために最適なプロジェクトが議論できる。目的を見失えばそのプロジェクト自体も失敗となる。いわば、“プロジェクト”は目標達成の“手段”である。本講演では、このような観点で、製品化を意識したプロジェクトの考え方と事例の紹介をする。

【講師略歴】 1984/04：シャープ株式会社入社
2000/8 AVシステム事業本部 デジタルシステム事業部アオス(AQUOS)開発着手
2002/4 37型AQUOSの開発製品化(緊急プロジェクトチーム チーフ)
2004/1~ 26型/32型/37型/45型/57型/65型AQUOS開発と製品化

明日-3 経営目標実現のためのIT投資とユーザー企業の課題

8/31 15:30 <約1000社のユーザーの最新動向より>

社団法人日本情報システム・ユーザー協会

常務理事 原田 俊彦

【セッション概要】 企業にとって、ITは経営戦略や事業戦略を支えるツールとしてますます重要になっており、インフラや効率化のための投資だけでなく、企業価値向上のためのIT投資が重視されるようになってきている。一方、CIOやITの担当者は、コストダウンよりも「投資の妥当性」を強く求められるようになってきている。ユーザー企業にとって、IT投資、システム開発、運用において、どのようなことが課題となっており、どうやって解決しようとしているのか、約1000社のアンケートと、40社のインタビューから分析し、明らかにする。

【講師略歴】 1970年東京海上火災保険㈱入社。1971年より情報システム部門に所属、以降20年間損害保険業務のオンライン・業務システムの開発に従事。1995年より7年間、IT企画部部長、東京海上システム開発㈱、東京海上コンピュータサービス㈱の取締役社長を兼務。2003年より2年間、ITコーディネータ協会へ出向。2005年5月より現職。

A-1 P2Mガイドブック及び事例紹介

9/1 10:00 <P2Mの特徴の理解を深める>

研修事業第1部会

演 久人(松下電器産業)

P2M

【セミナーの狙い】 日本発のプロジェクトマネジメントであるP2M(プロジェクト&プログラムマネジメント)の全体像と特徴をP2Mガイドラインに基づいて、わかりやすく解説する。特にPMBOK®との相違点が理解できるようにP2Mの特徴であるプログラムマネジメントと戦略、ファイナンス、システムズ、資源、関連性、バリューの各個別マネジメントを解説する。さらに活用事例を解説することで、P2Mの特徴の理解を深める。

【セミナーコンテンツ】 ①P2Mの概要 ②P2MとPMBOK®の相違点 ③プログラムマネジメントとは ④P2Mにおける個別マネジメント ⑤P2M活用事例 ⑥まとめ

【受講をお奨めする方】 ①P2Mの概要を知りたい方 ②P2Mの理解を深めたい方 ③P2MとPMBOK®の違いを理解されたい方④P2Mの活用事例を知りたい方。

【講師略歴】 松下電器産業株式会社人材開発カンパニー首都圏チーム、PM担当専事。

・建設コンサルタントにて、都市計画、道路計画、情報計画の多くのプロジェクトを経験。松下電器にてシステム開発、企画などを経験後、現職。経営戦略、プロジェクトマネジメントなどの教育・研修業務に従事。
・技術士(建設)、PM学会理事、IPA ITSS PM委員会委員、北海道大学非常勤講師、PMP®、PMS、ITCインストラクタ、ISMS審査員、情報処理技術者試験委員。

A-2 P2Mプログラムマネジメント・ワークショップ

9/1 14:00 <プロファイリングマネジメント実践>

PMAJ理事 広報部会長 渡辺 貞成

日本ユニシス(株)人材育成部長 兼 日本ユニシス・ラーニング(株)代表取締役社長 白井 久美子

【セミナーの狙い】 ITプロジェクトは失敗率が高いことが悩みの種である。最大の理由は構想計画を正しく策定できないことにある。本講座は、P2Mのプログラム統合マネジメントの中で重要なプロファイリングマネジメントを解説、活用を提案する。

【セミナーコンテンツ】 プロファイリングとはビジネス構想をまとめる際、現状の複雑現象を見抜き実行する課題を可視化する業務である。「あるべき姿」と「ありのままの姿」のギャップを俯瞰するツール「OWモデル」を活用、プロファイリングマネジメントの実践を学習する。

【受講をお奨めする方】 P2Mに興味があり、プロジェクトを構想計画の策定から実施したい方

【講師略歴】 渡辺貞成:日揮㈱で国内外の石油、原子カプラントを経験、日本有人宇宙システム㈱の役員を歴任、JPMF初代事務局長、P2M立上に参画。「プロジェクトマネジャー自在氏の経験則」を執筆。PM関連著書2冊、ペンネーム芝安曇 PMAJ理事、PMS。白井久美子:日本ユニシス(株)で、.NET事業を立ち上げる。SI事業や企業改革、人材戦略推進と企業コンピテンシ強化をP2Mプログラムマネジメントで実践。PMAJ理事、国際P2M学会(IAP2M)理事 普及委員長、PMS、PMR。